

交通安全研究に関わるgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年07月28日 ～2025年08月06日	イギリス	ラフバラー大学	・機械機能工学科、情報通信工学科、電気電子情報工学専攻、機械工学専攻 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生17名、学生バイト1名、教員2名、職員1名 (ラフバラー大学) 学生4名、教員5名、職員3名	森野 博章(情報・通信工学課程情報通信コース)、廣瀬 敏也(機械工学課程先進機械コース)



図1 ラフバラー大学

イギリス・ラフバラー大学にて、交通安全研究をテーマにグローバルPBLを実施した。本学の機械工学科・機械機能工学科・情報通信工学科および機能工学専攻・電気電子情報工学専攻の学生とラフバラー大学の学生が参加し、教職員による研究内容の紹介を行ってもらい、交通安全研究をテーマに課題を実施した。プロジェクトでは、(1)交通標識の安全性に関するテーマ、(2)キャンパス内の交通安全に関するテーマ、(3)歩行中のスマートフォンの使用に関するテーマ、(4)電動スクーターの安全性に関するテーマの4つのテーマを設けて課題を実施した。また、ロンドンにある英国運輸省を訪問し、英国における運転支援システムおよび自動運転システムに関する自動車行政(特に自動車基準の在り方)について、講演を聴講して質疑を行う機会を得ることができた。調査と発表を通じて、現地の研究者からの意見とフィードバックを受け、さらなる研究の深化を図った。このPBLを通じて、学生は国際的な視点を持つ研究能力、チームでの協働、問題解決能力を養い、自己の専門性を高めることができた。